

自作の望遠鏡で 七夕の月と土星を見よう！

ガリレオが世界で初めて、直径わずか4cmの望遠鏡で天体観測をしてから400年がたちます。この観測から天文学は飛躍的に発展しました。伝統的七夕の月の輝く夏の夕方、自分だけのステキな望遠鏡を作って、美しい月や土星・火星を観察しませんか？



2014年 8月2日(土) 18:00~20:30

会場：大分大学・旦野原キャンパス(教育福祉科学部 200号教室)

対象：小学生4年生以上のこどもとその保護者 30組

参加費：無料

申込先：下記の大分大学・社会連携推進課まで

★こどもだけの参加はできません。

★先着順になりますので、お申し込みはお早めに。

★持ってくるもの

- はさみ、セロハンテープ、接着剤(セメダインCなど透明で速乾性のもの)
- できあがった望遠鏡をかざるためのカラーペン、カラーテープ、シールなど
- 三脚はお貸しできるものを準備していますが、各自で三脚(カメラまたはビデオ用で可)持参されても結構です。



主催/問合せ 大分大学 社会連携推進課

TEL: 097-554-8533 / FAX: 097-554-7740 / E-mail: tiren@oita-u.ac.jp